

令和4年8月24日  
(2022年)

吹田市長 後藤 圭二 様

地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会  
委員長 高杉 豊

地方独立行政法人市立吹田市民病院 令和3年度の業務実績評価及び第2期中期目標期間の業務実績評価に係る意見について（答申）

令和4年8月2日付け4健健第537号にて市長より諮問のありました標記のことについて、下記のとおり答申いたします。

#### 記

地方独立行政法人市立吹田市民病院の令和3年度の業務実績評価(案)及び第2期中期目標期間の業務実績の評価(案)については、妥当であると判断する。

なお、今後の病院運営に当たっては、以下の意見を踏まえつつ、市立病院としての役割を確実に実施し、地域に必要な医療を継続的に提供されたい。

#### 1 救急医療について

救急医療に関する各指標は目標値を大きく下回っているものの、その背景には新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う対応による影響がある。同感染症への対応については市民サービスに大きく寄与していることから、現場への士気に影響なきよう、当該対応について適切に評価をしながら、引き続き救急医療体制の確保に取り組まれない。

#### 2 国立循環器病研究センターとの機能分担・連携について

国立循環器病研究センターとの連携については、相互紹介件数の増加からも、着実に進んでいることが伺える。具体的にどのような疾患について、相互に需要があるのかを検討しながら、一層の機能分担・連携を進められたい。

#### 3 医療職の人材の確保・養成について

令和6年4月1日からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始にあたり、医師の労働時間短縮に計画的に取り組むとともに、医師不足が危惧される救急、小児、周産期等については、非常勤も含めた医師確保の取組を適切に行われたい。

#### 4 人事給与制度について

人事評価制度の運用は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から令和2年度に予定されていた試行実施を見送った後、令和3年度もガイドブックの作成等による準備、令和4年度に2年遅れての試行実施となっている。重要なテーマとはいえかなりの時間を要しており、関連コストも大きいことから、令和5年度からの本格実施については確実に実施し、運用効果の検証についても適切に実施されたい。

#### 5 財務内容の改善について

手術件数の確保や在院日数の確保等の収益確保への取組については評価できるものの、令和3年度における収益の増加は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の影響が大きいことから、引き続き財務基盤としての医業収益確保への取組を継続されたい。